

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
338	老人福祉一般経費	01	一般会計		
		03	民生費		
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	02	老人福祉費	
			01	老人福祉総務費	
担当部課名	島ヶ原支所 健康福祉課		101	老人福祉一般事業	
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	0595-59-2163	01	老人福祉一般経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	在宅の高齢者	高齢者が住みなれた地域で、いきいきと自立した生活を営むことができる。
本年度事業内容	・高齢者在宅生活支援サービスの利用申請受付事務を行う。(介護用品給付、外出通院支援、介護予防事業等) ・地域ケア会議を開催する。(高齢者を対象に関係者が集まり、事例検討を通じて情報を共有し課題解決に取り組むとともに、保健、医療、福祉業の分野から適切なサービスを提供する。)	
平成 16 年度 終了年度		平成 年度 根拠法令・要綱等
伊賀市地域福祉計画		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	8	33	33
需用費	4	30	30
役務費	4		
旅費		3	3
その他			
合計(A+B)	2,888	2,913	2,913
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,888	2,913	2,913
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
地域ケア会議開催数	回	12	9	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地域ケア会議の開催数	ケア会議の年間開催数	回	12 目標 (12)	9	12
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成18年度から伊賀市地域ケア会議が設置された。支所で月1回担当者による調整会議を行い、全体会議では地域で発生している福祉的ニーズへの総合的な調整、適切な解決方法の提供を行っていく。

評価	必要性	4	事業を現状維持する。高齢者が地域で生活していくについて、関係者による生活支援は必要であり今後さらに充実していかなければならない。在宅による生活支援に対応する担当職員、関係者の連携をさらに密にし、事業対応を行っていく必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		